

# 令和7年度 学校評価の概要

山梨市立山梨南中学校

## 保護者 学校評価について

### 1 80%以上の肯定的な意見

- |   |
|---|
| (1)-1 学校は、社会情勢や教育の今日的課題等を考慮する中で、各行事の精選や見直しを検討し、教育効果とのバランスを図り、適切な教育課程を編成している。  |
| (1)-2 学校は感染症対策等による休校等の措置や欠席の多い生徒などの学びの保障に心掛け工夫をしている。  |
| (1)-8 外部講師を招いた学習会などが、我が子にとって世の中の課題について考えたり意識を深める機会となっている。(南中タイム、インターネット、AI、交通安全教室・1年:交通安全教育 2年:依存症・薬物乱用防止教育 3年:エイズ教育、租税教育等) |
| (1)-9 学校は山梨市や地域の地理・歴史・文化・福祉等の特色を生かした教育活動を進めている。(郷土学習)   |
| (2)-3 学校は、一人一台端末等の ICT 環境を効果的に活用して授業を行っている。   |
| (2)-5 我が子の学級は、授業規律が確立していて、子供たちは授業に集中している。   |
| (3)-17 校外学習や総合的な学習等で、人や文化・自然と関わることで、我が子の心が豊かになっている。   |
| (3)-18 我が子は、困った時や悩みがある時に SOS の出し方を知っている。  |
| (4)-1 家庭においては、我が子は生活リズムが整い、規律ある生活習慣が身についている。  |
| (4)-2 保健体育の授業や体育的行事、部活動は、我が子の体力の向上につながっている。   |
| (4)-6 学校は、新型コロナやインフルエンザなどの感染症に対して、感染が広がらない対応を取っている。   |
| (4)-7 家庭では、健康観察や換気、手指消毒、手洗い、3密の回避等、「新しい生活様式」として常に意識して生活している。  |
| (4)-8 学校は、感染症対策も取りつつ、行事や部活動などでは充実した活動ができています。   |
| (6)-4 学校は、施設や設備が整備されていて安全である。   |
| (7)-1 学校や子どもたちは、地域から大切にされていると感じる。   |
| (7)-3 学校は、保護者や地域、関係機関等との協力を大事にしている。   |
| (7)-5 学校から出される各種たよりや通知等(マチコミやホームページ含む)で、学校の様子がよく理解できている。  |

### 考察

適切な教育課程、感染症対策、外部講師を招いての学習会、郷土学習、ICT教育、授業規律が出来ている、SOSを出す教育、基本的な生活習慣、体力の向上、施設の整備、地域とのかかわり、学校からのお便りについて計画的に実施してきた。

特に本年度実施した「南中タイムは」本校に関係している外部講師を招聘して学習会を行った。このような地域で生き生きと活躍している大人と生徒を引き合わせることは、生徒の育成のためにはとても有益である。保護者の中からも、将来的に講師として考えていきたい。

また山梨市教育委員会の協力のもと学校環境設備が整い、同時に生徒が清掃活動を意欲的にしていることが授業規律、施設の整備等の肯定感が高まっていると考えられる。また ICT 教育に関して保護者から関心が高いことも読み取れる。

## 2 肯定的意見が50%～60%

- (1)-3 学校は、小学校との接続や連携を意識した教育活動を行なっている。
- (2)-1 学校は、我が子が自主的・自発的に学べるよう授業を工夫している。
- (2)-7 「自学」学習時間の取り組みは、我が子にとって効果のある取り組みだと思う。
- (2)-8 学校は、生徒一人一人の目標に応じて、学力向上ができるよう授業を工夫している。
- (3)-3 我が子は、悩みや困ったことについて、教職員に相談できる。
- (3)-10 学校は生徒一人一人に応じた生徒指導をしている。
- (7)-2 学校評価は、学校改善・信頼される学校づくりに効果的な活用がなされている。
- (7)-6 「地域とともにある学校づくり」をめざす、コミュニティ・スクールの趣旨を理解している。

### 考察

小中連携、自主学習ノートの改善と工夫、授業研究、生徒との心理的安全性の構築  
生徒に寄り添った生徒指導、学校評価により改善している啓発、学校運営協議会の理解

生徒がしている GU ノートの取り組みが学習意欲や成果にあらわれていないことが考えられる。生徒の学習に対する理解や学力向上を高めるために教職員の授業研究をさらに高めていくことが必要である。同時に生徒と教員が心理的安全性を高め相談できる雰囲気作りに努めなければならない。また生徒の多様性に配慮した指導をする必要がある。学校評価をいかすことと、コミュニティスクールへの啓発活動を高める。

## 3 肯定的意見が50%以下

- (1)-5 学校は、グローバルな視点を持ち、英語力の向上に努力している。(積極的に英語検定の受験を推奨)
- (2)-6 自主学習ノートの取り組みは、我が子の家庭学習の習慣化や学力向上に役立っている。
- (2)-9 全国学力・学習状況調査や県学力把握調査の課題などについて、学校から説明があった。

### 考察

英語力の向上、自主学習ノートの取り組みの工夫、全国学力状況調査結果について  
英語に対しての工夫が求められている。ALT の活用や英語検定による成果の確認などがもたらされている。2にあるように GU ノートの活用の工夫や見直しが求められている。全国学力・学習状況調査について、文科省の報道にもとづきながら啓発活動をする必要がある。

## 4 保護者には判断が難しいもの(分からないという回答が多い)

- (3)-5 学校は、欠席が多かったり、集団での生活に困難さを感じている生徒に対し、その生徒に応じたきめ細かい支援を行っている。
- (3)-7 学校は、生徒やその家庭の貧困やヤングケアラーの問題に取り組んでいる。
- (3)-15 「きずなの日」の意味や役割を知っている。
- (4)-3 体力テストの結果について学校から説明があった。
- (5)-1 学校学校は、生徒一人一人が必要とする支援をしている。
- (5)-2 学校の特別支援学級や通級指導教室などでは、生徒の実態に応じた適切な教育課程や指導形態を工夫し、一人一人を伸ばす指導と評価に努めている。
- (5)-3 学校の特別支援学級や通級指導教室は、支援計画や指導計画に沿って切れ目のない支援に努めている。
- (5)-4 学校は、特別な教育的支援を必要とする生徒への適切な指導と配慮に努めている。

### 考察

きめ細かい生徒指導、ヤングケアラー、きずなの日の工夫、体力テストの結果のお知らせ、特別支援教育の啓発

学校からの説明について、さらにきめ細かくご案内する必要がある。理解を求めていく中で地域と共にある学校を目指していく必要がある。特にヤングケアラー支援や特別な配慮を必要とする生徒の教育については教職員の研修を始め、保護者にも理解を求める。

参考① 令和6年度比較により肯定的意見が上昇しているもの

(1)-2 学校は感染症対策等による休校等の措置や欠席の多い生徒などの学びの保障に心掛け工夫をしている。
(1)-3 学校は、小学校との接続や連携を意識した教育活動を行なっている。
(1)-4 我が子は、自分の将来に夢や希望を持ち、社会的・職業的自立に向け、将来に必要な基盤となる能力や態度を身につけるために努力している。
(1)-6 学校で行われる職業調べや職場体験・進路学習・進路指導などは我が子の将来の自立に役立っている。
(1)-9 学校は山梨市や地域の地理・歴史・文化・福祉等の特色を生かした教育活動を進めている。(郷土学習)
(2)-5 我が子の学級は、授業規律が確立していて、子供たちは授業に集中している。
(3)-2 学校は、ネット上のいじめ防止など、情報モラル教育を行っている。
(3)-5 学校は、欠席が多かったり、集団での生活に困難さを感じている生徒に対し、その生徒に応じたきめ細かい支援を行っている。
(3)-6 学校は、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーをはじめ、行政・他機関等の連携を大切にしている。
(3)-16 読書活動や文化芸術活動、美化活動等によって、学校がうるおいのある居場所になっている。
(4)-3 体力テストの結果について学校から説明があった。
(4)-6 学校は、新型コロナやインフルエンザなどの感染症に対して、感染が広がらない対応を取っている。
(6)-4 学校は、施設や設備が整備されていて安全である。

参考② 令和6年度比較により肯定的意見が下降しているもの

(3)-4 学校にはいじめや暴力行為がなく、子供は学校生活を安心して送れている。
(4)-2 保健体育の授業や体育的行事、部活動は、我が子の体力の向上につながっている。
(4)-8 学校は、感染症対策も取りつつ、行事や部活動などでは充実した活動ができている。
(6)-2 我が家では、日頃から家族で大地震や台風などによる自然災害が起きた場合の対応を確認している。
(6)-3 学校の防災訓練や避難訓練の実施や緊急時の防災マニュアルについて、理解している。
(7)-3 学校は、保護者や地域、関係機関等との協力を大事にしている。
(7)-5 学校から出される各種たよりや通知等(マチコミやホームページ)で学校の様子がよく理解できている。

# 生徒 学校評価について

## 1 80%以上の肯定的な意見

(1)-1 社会や生活の大きな変化を前向きに受け止め、人生をより豊かにしていくためにどうすべきか主体的に考えている。
(1)-2 日頃から校訓や学校の目標を意識しながら、「より良い山梨南中学校」を目指し取り組んでいる。
(1)-4 学校は、小学校で学習したことを踏まえて授業や活動を行なっている。
(1)-6 自分の将来に夢や希望を持ち、自立した大人になるために必要となる力を付けるよう努力している。(1年:職業調べ 2年:職場体験・進路学習 3年:進路指導)
(1)-7 先生と話をしたり相談したり触れ合う時間が十分にある。
(1)-8 外部講師を招いた学習会などでは、世の中の課題について考えたり意識を深めている。(南中タイム、インターネット、AI、交通安全教室・1年:交通安全教育 2年:依存症・薬物乱用防止教育 3年:エイズ教育、租税教育等)
(1)-9 学校は山梨市や地域の地理・歴史・文化・福祉等の特色を生かした教育活動を進めている。
(2)-1 先生たちは、楽しく魅力ある授業をしてくれるので、学習意欲がわき、学習内容もよく理解できる。
(2)-2 自ら学習課題や学習活動を選択する機会があり、生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促される場面が授業の中によくある。
(2)-3 「話す」「聞く」「書く」「読む」ことを使って、記録や要約、説明、論述、話し合うなどの活動が授業の中によくある。
(2)-4 一人一台端末等の ICT 環境が日常的に活用され、充実した授業が行なわれている。
(2)-5 授業で学習した内容が単元や題材ごとに成果が評価され、自分自身に返ってきている。
(2)-6 自分のこととして学習する態度が身につくようになって、学習習慣が定着している。
(2)-9 「自学」学習時間の取り組みは、自分にとって効果があると思う。
(3)-1 学校は、自分の大切さや他の人の大切さを認められるような人権意識を培う教育活動を行っている。
(3)-2 学校は、ネット上のいじめ防止など、情報モラル教育を行っている。
(3)-3 学校はいじめや暴力行為がなく、安心して生活できる。
(3)-4 学校には、誰にとっても居場所がある。
(3)-5 先生方は生徒一人一人に丁寧に支援や相談をしてくれる。
(3)-6 学校は、困り感のある生徒に対して、スクールカウンセラーなどとの教育相談を行っている。
(3)-8 道徳の時間で扱われる内容は、自分の生き方を考える内容のものとなっている。
(3)-9 道徳の時間は、自分をいろいろな立場や場面に置き換えて、考えたり議論したりする場面がある。
(3)-10 学校は生徒一人一人に応じた生徒指導をしている。
(3)-11 あなたの学級では、お互いを認め合ったり学び合ったりしている。
(3)-12 学校は、生徒が自発的・主体的に自らを成長させることができる場になっている。
(3)-13 自分たちで考え、自分たちの力で取り組む生徒会活動が進められている。
(3)-14 自分にとって、部活など学校の活動において、楽しみややりがいのある活動がある。
(3)-16 読書活動や文化芸術活動、美化活動等によって、学校がうるおいのある場所になっている。
(3)-17 校外学習や総合的な学習等で、人や文化・自然と関わることで、自分の心が豊かになる。
(4)-1 自分は、生活リズムが整えられていて、規律ある生活習慣が身につくようになってきている。
(4)-2 保健体育の授業や体育的行事、部活動は、自分の体力の向上につながっている。
(4)-3 体力テストの結果が授業や体育的活動に生かされている。
(4)-4 「食」や「生活の安全」について学ぶことが「心身の健康の保持増進」に繋がることを理解している。
(4)-5 給食をはじめ家庭や家庭外での食生活では、食育を意識している。
(4)-6 学校は、新型コロナやインフルエンザなどの感染症に対して、感染が広がらない対応を取っている。
(4)-7 自分は、健康観察や換気、手指消毒、手洗い、3密の回避等、「新しい生活様式」として常に意識して生活している。

(4)-8 感染症対策も取りつつ、行事や部活動などは充実した活動ができている。
(5)-1 学校は、将来生徒一人一人が自立し社会に参加できるよう、個々に必要とする支援をしている。
(6)-2 防災訓練や避難訓練は、いざという時の行動に役に立っている。
(6)-3 学校は、施設や設備が整備されていて安全である。
(6)-4 先生は、安全や安心について丁寧に指導している。
(7)-1 学校は、地域から大切にされていると感じる。
(7)-2 学校は日々の生活や行事・活動(生徒会や部活動等)について、その都度反省し課題を明らかにしている。
(7)-3 学校は、保護者や地域、関係機関等との協力を大事にしている。
(7)-4 自分は、地域の行事等に参加できる体制があるので、地域行事に進んで参加している。
(7)-5 学校での様々な活動や成果については、各種たよりや通知等(ホームページやマチコミを含む)で家庭に知らされている。
(7)-6 自分は、学校の良い所や、地域の良い所や誇れるものを知っていて、それを生かしたいと思っている。

#### 考察

生徒はほとんどの項目で肯定的な意見

生徒同士と学年、クラス、担任等で信頼関係が高いと考えられる。信頼関係が高まることにより、より教育の成果が上がってくる。生徒の肯定感の割合と保護者の肯定感の割合について、隔たりがある。これは十分に学校での生活を保護者には伝えていないことが考えられる。また保護者は知らない事による評価が出来ない項目もることが分かる。この隔たりをなくすために、保護者への啓発と保護者との関わりのある授業等を実施していく。

#### 2 黄色 60%以下 橙 50%いかのもの考察

(2)-7 あなたの学級は、授業規律が確立していて、みんな集中して授業を受けている。

(3)-15 「きずなの日」の意味や役割を知っている。

#### 考察

授業規律について、改善したいと考えていることが分かる。

きずなの日について理解を深めたい

自分たちの生活を客観的に見たときに授業規律が守られていない。あるいは集中して授業を受けていないと理解している様子。このことは先に書いた教職員の授業研究や自主学習の工夫などをすることで改善できると考えられる。また、見方を変えるとよりよい授業をつくるのは自分たちであると理解している。きずなの日については、友達同士あるいは担任の先生、あるいは家族との交流をもっとしたいと考えている現れである。ただ早く下校するばかりではなく、日ごろ出来ないような生活や学習への質問ができるようにしていきたい。

参考③ 令和6年度比較により肯定的意見が上昇しているもの

(1)-8 外部講師を招いた学習会などでは、世の中の課題について考えたり意識を深めている。(南中タイム、インターネット、AI、交通安全教室・1年:交通安全教育 2年:依存症・薬物乱用防止教育 3年:エイズ教育、租税教育等)
(2)-4 一人一台端末等のICT環境が日常的に活用され、充実した授業が行なわれている。
(2)-5 授業で学習した内容が単元や題材ごとに成果が評価され、自分自身に戻ってきている。
(2)-6 自分のこととして学習する態度が身につくようになって、学習習慣が定着している。
(2)-7 あなたの学級は、授業規律が確立していて、みんな集中して授業を受けている。
(2)-10 全国学力・学習状況調査や県学力把握調査の課題などが、授業で生かされている。
(3)-3 学校はいじめや暴力行為がなく、安心して生活できる。
(3)-10 学校は生徒一人一人に応じた生徒指導をしている。
(3)-15 「きずなの日」の意味や役割を知っている。
(4)-1 自分は、生活リズムが整えられていて、規律ある生活習慣が身につくようになってきている。
(4)-7 自分は、健康観察や換気、手指消毒、手洗い、3密の回避等、「新しい生活様式」として常に意識して生活している。
(5)-1 学校は、将来生徒一人一人が自立し社会に参加できるよう、個々に必要とする支援をしている。
(6)-1 自分は、日頃から大地震や台風などによる自然災害が起きた場合どうするかシュミレーションしている。
(6)-2 防災訓練や避難訓練は、いざという時の行動に役に立っている。
(7)-2 学校は日々の生活や行事・活動(生徒会や部活動等)についてその都度反省し課題を明らかにしている。
(7)-3 学校は、保護者や地域、関係機関等との協力を大事にしている。

参考④ 令和6年度比較により肯定的意見が下降しているもの

(1)-2 日頃から校訓や学校の目標を意識しながら、「より良い山梨南中学校」を目指し取り組んでいる。(1)-9 学校は山梨市や地域の地理・歴史・文化・福祉等の特色を生かした教育活動を進めている。(2)-8 自主学習ノートの取り組みは、自分にとって家庭学習の習慣化や学力向上に役立っている。(2)-9 「自学」学習時間の取り組みは、自分にとって効果があると思う。
(3)-7 学校は、生徒やその家庭の貧困やヤングケアラーの問題解決に取り組んでいる。
(3)-8 道徳の時間で扱われる内容は、自分の生き方を考える内容のものとなっている。
(3)-13 自分たちで考え、自分たちの力で取り組む生徒会活動が進められている。
(3)-16 読書活動や文化芸術活動、美化活動等によって、学校がうるおいのある場所になっている。
(6)-3 学校は、施設や設備が整備されていて安全である。

# 職員 学校評価について

## 1 80%以上の肯定的な意見

(1)-1 知・徳・体の調和を重視し、「生きる力」を育み、地域や世界で活躍できる人材の育成を目指す、適切な教育課程の編成と実施を行った。
(1)-2 学習指導要領に基づいた、指導計画の評価と改善の充実に努めた。
(1)-3 社会情勢や教育の今日的課題等を考慮する中で、各行事の精選や見直しを検討し、教育効果とのバランスを図り、適切な教育課程を編成した。
(1)-5 小学校との接続を意識した教育課程の編成のため、合同研究会や授業交流等連携を積極的に行った。
(1)-6 地域や世界で活躍できる人材の育成を目指し、生徒一人一人がグローバルな視点を持ち、社会的・職業的自立に向け、将来に必要な基盤となる能力や態度の育成を図った。
(1)-7 「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の4技能5領域の言語活動の実施による、生徒の英語力の向上を図った。またCAN-DOリストを基にした授業づくりを行った。
(1)-8 生徒の社会的自立の基礎を培うことを目指し、「山梨のキャリアパスポート」を活用した、体系的・系統的なキャリア教育の充実(1年:職業調べ 2年:職場体験・進路学習 3年:進路指導 等)を図った。
(1)-10 外部講師を招聘した学習会を開催し(1年:交通安全教育 2年:依存症・薬物乱用防止教育 3年:エイズ教育、租税教育 等)、社会的課題に対する生徒の意識醸成を図った。
(1)-11 山梨市ECHOES学習の目的を理解し、その理念を生かした教育課程編成と実施に努めた。
(2)-1 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善と評価に努めた。
(2)-2 自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促される授業づくりに努めた。
(2)-3 各教科等の「見方・考え方」を働かせられるよう、各教科等の特質に応じた言語活動の充実を図った。
(2)-4 それぞれの教科等の目標を実現するとともに、生徒の発達段階を考慮しながら情報活用能力を育成できるように、一人一台端末等のICT環境を日常的かつ効果的に活用した授業の充実を図った。
(2)-5 単元や題材など内容や時間のまとまりで、学習の過程や成果を評価し、資質・能力の育成に生かせるように、指導と評価を一体的に改善した。
(2)-6 主体的な学習態度や学習習慣の定着を図った。
(2)-7 授業規律を確立し、生徒が授業に集中できるよう努めた。
(2)-8 「自主学習ノート」を活用するなどし、意識的に家庭学習の習慣化に取り組んだ。
(2)-9 「自学」学習時間が生徒にとって、効果的な時間となるように工夫し取り組んだ。
(2)-10 学力・学習状況を把握し、課題を共有する中で、学力向上のための授業改善に努めた。
(2)-11 全国学力・学習状況調査や県学力把握調査の結果分析と改善策を共有した。
(3)-1 適切な生徒理解と居場所づくりに努めると共に、人権教育・道徳教育の充実に努めた。
(3)-2 自分の大切さや他の人の大切さを認めるために求められる人権感覚を涵養し、実践力や行動力を育成するため、生徒の発達段階や地域の実情に応じた人権教育を促した。
(3)-3 インターネット上のいじめが、重大な人権侵害に当たることを理解させるなど、情報モラル教育を推進した。
(3)-4 いじめ・不登校等の問題の未然防止に重点を置き、早期発見・早期対応に努めた。
(3)-5 いじめを許さない集団づくりと不登校生徒が生じない環境づくりに取り組んだ。
(3)-6 長期欠席者等の生徒に応じた「個別の支援計画」を作成し、きめ細かい支援を行った。
(3)-7 ケース会議等を通して、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教職員、関係機関等と連携・協働し組織的な支援体制の構築を図った。
(3)-8 貧困やヤングケアラーの状態にある生徒の早期発見・状況把握に努め、関係機関との連携を図るなど、適切な支援を行なった。
(3)-9 道徳時間の適切な実施など、「豊かな心・しなやかな心」の育成に努めた。
(3)-10 多面的・多角的に「考え、議論する道徳」へと質的転換を図った。
(3)-11 生徒一人一人の特性に応じた生徒指導をした。
(3)-12 生徒指導の土台は学級にあることを確認し、認め合い学び合う学級づくりに努めた。
(3)-13 発達支持的生徒指導の充実を図るため、生徒の多様性を認め合う魅力ある学校づくりに努めた。
(3)-14 生徒の自主的・自立的な生徒会活動の充実に努めた。
(3)-15 節度ある部活動のもと、体力・技能等の向上と自主性及び好ましい人間関係の育成に努めた。
(3)-17 読書活動、文化芸術活動、美化活動等の充実を図り、潤いのある学校づくりを進めた。
(3)-18 体験学習活動の充実を図り、人・文化・自然との関わりを深める中で豊かな人間性

を育成した。
(3)-19 SOSの出し方に関する教育に積極的に取り組んだ。
(4)-1 保健体育や体育的行事、部活動等の充実を通して、運動習慣を定着させ、朝食接種、十分な睡眠等、望ましい生活習慣の定着を通じて体力の向上を図った。
(4)-2 「一校一実践」や体力テストの結果に基づく授業改善を進めた。
(4)-3 「食」「安全」「心身の健康の保持増進」の指導を関連させ、健康教育の充実に努めた。
4)-4 「食育推進一校一実践」及び食育の推進に努めた。
(4)-5 新型コロナやインフルエンザなどの感染症に対して、感染が広がらない対応を取った。
(4)-6 健康観察や換気、手指消毒、手洗い、3密の回避等、「新しい生活様式」として常に意識して指導した。
(4)-7 感染症対策も取りつつ、行事や部活動などは充実した活動ができた。
(5)-1 生徒一人ひとりの自立・社会参加に必要な資質の育成に努めた。
(5)-2 校内委員会のもと、全校的な教育支援体制を確立し、多様な学びの場(通常の学級・通級による指導・特別支援学級)における教育の充実に努めた。
(5)-3 生徒の実態に応じた適切な教育課程や指導形態を工夫し、一人一人を伸ばす指導と評価に努めた。
(5)-4 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成・活用し、切れ目のない支援を行った。
(5)-5 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする生徒への適切な指導と配慮に努めた。
(6)-1 生徒の危機管理意識を高め、安全管理体制の拡充に努めた。
(6)-2 安全教育を計画的に実施し、生徒の危機管理意識の向上に努めた。
(6)-3 「危機管理マニュアル」を見直し、実践的な防災・防犯等の訓練を計画的に実施した。
(6)-4 施設・設備を定期的に点検し、安全な教育環境の整備に努めた。
(6)-5 学校安全に関する校内研修を実施し、教職員の対応能力や指導力の向上に努めた。
(7)-1 家庭・地域との連携を強化し、開かれた学校づくりを進めた。
(7)-2 日々の生活や行事・活動について、その都度反省し課題を明らかにした。また保護者に伝えた。
(7)-3 学校の諸課題の解決にむけて、保護者・地域・関係諸機関等との緊密な連携を図った。
(7)-4 生徒が地域の行事に参加できるような体制を取り、進んで参加するよう指導に努めた。
(7)-5 各種たよりの発行など、家庭との連携を図ることを通じて、学校の教育活動を理解してもらおうよう努力した。
(7)-6 学校運営協議会(CS)の効果的な活用を進める中で、地域の人的資源・物的資源を開発しながら、地域の方々の力と知恵を有効活用した。
(7)-7 『ふるさと山梨』の活用や地域との連携等により、郷土に関する学習を推進した。

## 考察

ほぼ全質問項目について肯定的意見が 80 %以上になっている。これは本年度における学校、学年、学級の取り組みがうまくいっていた現れである。特に「社会的・職業的な自立」「教師と生徒の向き合う時間の確保」「自分の大切さや他人の大切さの教育」「読書活動、文化活動、美化活動」、「SOSの出し方」「食」「安全」「心身の健康の保持増進」「学校安全に関する校内研修」「郷土に関する学習」の項目が高い。

本年度は生徒会を中心に、学校生活の諸課題について自ら考え改善する方法を見だし、実践をしてきた。また各専門委員会活動においても全校を巻き込み、充実した学校生活を送れるような実践をしてきた。これらの現れだとかんじる。

また、毎週行われていた学校運営委員会、そして各学年とも主任を中心とした意見を共有してチームとして取り組んでいることが見られた。

また学校運営協議会において、学校の諸課題について対応し、教職員への研修や柔軟な教育課程としての南中タイムの実践も良い結果の表れだと考える。

## 2 黄色 60 %以下の考察

(1)-4 感染症対策等による休校等の措置や欠席の多い生徒などの学びの保障に心掛け、リモートでの授業等、柔軟かつ適切な対応を心がけた。
(3)-16 「きずなの日」の趣旨が生かされた。

## 考察

職員の記述にもあるように、学びを確保についても考えて行く必要がある。具体的には、感染予防防止について出席停止措置がとられた場合のリモート授業についてである。保護者よりリモート授業への要望もあった。リモート授業についての規定について早急に整えていく筆予がある。

「きずなの日」についても、生徒からもこの意味や意義をいかすようにしたいとあるように、学習への補充や相談の時間として有意義なものにしていきたい

参考⑤ 令和6年度比較により肯定的意見が上昇しているもの

(1)-6 地域や世界で活躍できる人材の育成を目指し、生徒一人一人がグローバルな視点を持ち、社会的・職業的自立に向け、将来に必要な基盤となる能力や態度の育成を図った。
(1)-9 教員が生徒と向き合う時間を確保するため、多忙化解消の取組を積極的に進めた。
(1)-10 外部講師を招聘した学習会を開催し(1年:交通安全教育 2年:依存症・薬物乱用防止教育 3年:エイズ教育、租税教育 等)、社会的課題に対する生徒の意識醸成を図った。
(2)-1 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善と評価に努めた。
(2)-4 それぞれの教科等の目標を実現するとともに、生徒の発達段階を考慮しながら情報活用能力を育成できるよう、一人一台端末等のICT環境を日常的かつ効果的に活用した授業の充実を図った。
(2)-9 「自学」学習時間が生徒にとって、効果的な時間となるように工夫し取り組んだ。
(2)-11 全国学力・学習状況調査や県学力把握調査の結果分析と改善策を共有した。
(3)-2 自分の大切さや他の人の大切さを認めるために求められる人権感覚を涵養し、実践力や行動力を育成するため、生徒の発達段階や地域の実情に応じた人権教育を促した。
(3)-7 ケース会議等を通して、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教職員、関係機関等と連携・協働し組織的な支援体制の構築を図った。
(3)-8 貧困やヤングケアラーの状態にある生徒の早期発見・状況把握に努め、関係機関との連携を図るなど、適切な支援を行なった。
(3)-9 道徳時間の適切な実施など、「豊かな心・しなやかな心」の育成に努めた。
(3)-10 多面的・多角的に「考え、議論する道徳」へと質的転換を図った。
(3)-13 発達支持的生徒指導の充実を図るため、生徒の多様性を認め合う魅力ある学校づくりに努めた。
(3)-16 「きずなの日」の趣旨が生かされた。
(3)-17 読書活動、文化芸術活動、美化活動等の充実を図り、潤いのある学校づくりを進めた。
(3)-18 体験学習活動の充実を図り、人・文化・自然との関わりを深める中で豊かな人間性を育成した。
(3)-19 SOSの出し方に関する教育に積極的に取り組んだ。
(4)-2 「一校一実践」や体力テストの結果に基づく授業改善を進めた。
(4)-3 「食」「安全」「心身の健康の保持増進」の指導を関連させ、健康教育の充実に努めた。
(4)-4 「食育推進一校一実践」及び食育の推進に努めた。
(4)-6 健康観察や換気、手指消毒、手洗い、3密の回避等、「新しい生活様式」として常に意識して指導した。
(5)-1 生徒一人ひとりの自立・社会参加に必要な資質の育成に努めた。
(5)-2 校内委員会のもと、全校的な教育支援体制を確立し、多様な学びの場(通常の学級・通級による指導・特別支援学級)における教育の充実に努めた。
(5)-3 生徒の実態に応じた適切な教育課程や指導形態を工夫し、一人一人を伸ばす指導と評価に努めた。
(5)-4 「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を作成・活用し、切れ目のない支援を行った。
(5)-5 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする生徒への適切な指導と配慮に努めた。
(6)-5 学校安全に関する校内研修を実施し、教職員の対応能力や指導力の向上に努めた。
(7)-1 家庭・地域との連携を強化し、開かれた学校づくりを進めた。
(7)-2 日々の生活や行事・活動について、その都度反省し課題を明らかにした。また保護者に伝えた。
(7)-3 学校の諸課題の解決にむけて、保護者・地域・関係諸機関等との緊密な連携を図った。
(7)-4 生徒が地域の行事に参加できるような体制を取り、進んで参加するよう指導に努めた。
(7)-7 『ふるさと山梨』の活用や地域との連携等により、郷土に関する学習を推進した。

参考⑥ 令和6年度比較により肯定的意見が下降しているもの

(1)-4 感染症対策等による休校等の措置や欠席の多い生徒などの学びの保障に心掛け、リモートでの授業等、柔軟かつ適切な対応を心がけた。
(1)-5 小学校との接続を意識した教育課程の編成のため、合同研究会や授業交流等連携を積極的に行った。
(1)-7 「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の4技能5領域の言語活動の実施による、生徒の英語力の向上を図った。またCAN-DOリストを基にした授業づくりを行った。
(1)-8 生徒の社会的自立の基礎を培うことを目指し、「山梨のキャリアパスポート」を活用した、体系的・系統的なキャリア教育の充実（1年:職業調べ 2年:職場体験・進路学習 3年:進路指導 等）を図った。
(1)-11 山梨市ECHOES学習の目的を理解し、その理念を生かした教育課程編成と実施に努めた。
(2)-2 自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促される授業づくりに努めた。
(2)-7 授業規律を確立し、生徒が授業に集中できるよう努めた。
(2)-8 「自主学習ノート」を活用するなどし、意識的に家庭学習の習慣化に取り組んだ。
(3)-6 長期欠席者等の生徒に応じた「個別の支援計画」を作成し、きめ細かい支援を行った。
(3)-11 生徒一人一人の特性に応じた生徒指導をした。
(4)-1 保健体育や体育的行事、部活動等の充実を通して、運動習慣を定着させ、朝食接種、十分な睡眠等、望ましい生活習慣の定着を通じて体力の向上を図った。
(4)-7 感染症対策も取りつつ、行事や部活動などは充実した活動ができた。
(6)-1 生徒の危機管理意識を高め、安全管理体制の拡充に努めた。
(6)-3 「危機管理マニュアル」を見直し、実践的な防災・防犯等の訓練を計画的に実施した。

# 令和7年度 学校評価の概要

## 山梨市立山梨南中学校

2月に、「学校評価」をするための生徒及び保護者アンケートをさせていただきました。その後、生徒・保護者アンケート集計も参考にしながら、教職員アンケートをしました。アンケート結果については、PTA・生徒活動後援会合同役員会及び学校運営協議会で提示させていただき、出席者からご意見を伺うことが出来ました。今回の学校評価をもとにして、学校長はR7年度の学校経営について重点目標と具体的努力点を設定していきます。また、本校教職員は、各学年や分掌での活動目標と具体策を作成していきます。以下は、アンケート集計を「肯定的な回答の割合が高い」項目と「肯定的な回答の割合が低い」項目に分けたものです

### 保護者 学校評価について

#### 1 80%以上の肯定的な意見

- |   |
|---|
| (1)-1 学校は、社会情勢や教育の今日的課題等を考慮する中で、各行事の精選や見直しを検討し、教育効果とのバランスを図り、適切な教育課程を編成している。  |
| (1)-2 学校は、感染症対策等による休校等の措置や欠席の多い生徒などの学びの保障に心掛け、工夫をしている。  |
| (1)-8 外部講師を招いた学習会などが、我が子にとって世の中の課題について考えたり意識を深める機会となっている。(南中タイム、インターネット、AI、交通安全教室・1年:交通安全教育 2年:依存症・薬物乱用防止教育 3年:エイズ教育、租税教育等) |
| (1)-9 学校は山梨市や地域の地理・歴史・文化・福祉等の特色を生かした教育活動を進めている。(郷土学習など)   |
| (2)-3 学校は、一人一台端末等のICT環境を効果的に活用して授業を行っている。   |
| (2)-5 我が子の学級は、授業規律が確立していて、子供たちは授業に集中している。   |
| (3)-17 校外学習や総合的な学習等で、人や文化・自然と関わることで、我が子の心が豊かになっている。   |
| (3)-18 我が子は、困った時や悩みがある時にSOSの出し方を知っている。  |
| (4)-1 家庭においては、我が子は生活リズムが整い、規律ある生活習慣が身についている。  |
| (4)-2 保健体育の授業や体育的行事、部活動は、我が子の体力の向上につながっている。   |
| (4)-6 学校は、新型コロナやインフルエンザなどの感染症に対して、感染が広がらない対応を取っている。   |
| (4)-7 家庭では、健康観察や換気、手指消毒、手洗い、3密の回避等、「新しい生活様式」として常に意識して生活している。  |
| (4)-8 学校は、感染症対策も取りつつ、行事や部活動などでは充実した活動ができている。  |
| (6)-4 学校は、施設や設備が整備されていて安全である。   |
| (7)-1 学校や子どもたちは、地域から大切にされていると感じる。   |
| (7)-3 学校は、保護者や地域、関係機関等との協力を大事にしている。   |
| (7)-5 学校から出される各種たよりや通知等(マチコミやホームページ含む)で、学校の様子がよく理解できている。  |

適切な教育課程、感染症対策、外部講師を招いての学習会、郷土学習、ICT教育、授業規律が出来ている、SOSを出す教育、基本的な生活習慣、体力の向上、施設の整備、地域とのかかわり、学校からのお便り

#### 2 肯定的意見が50%～60%

- (1)-3 学校は、小学校との接続や連携を意識した教育活動を行なっている。
- (2)-1 学校は、我が子が自主的・自発的に学べるよう授業を工夫している。
- (2)-7 「自学」学習時間の取り組みは、我が子にとって効果のある取り組みだと思う。
- (2)-8 学校は、生徒一人一人の目標に応じて、学力向上ができるよう授業を工夫している。
- (3)-3 我が子は、悩みや困ったことについて、教職員に相談できる。
- (3)-10 学校は生徒一人一人に応じた生徒指導をしている。
- (7)-2 学校評価は、学校改善・信頼される学校づくりに効果的な活用がなされている。
- (7)-6 「地域とともにある学校づくり」をめざす、コミュニティ・スクールの趣旨を理解している。

小中連携、自主学習ノートの改善と工夫、授業研究、生徒との心理的安全性の構築  
 生徒に寄り添った生徒指導、学校評価により改善している啓発、学校運営協議会の理解

### 3 肯定的意見が 50 % 以下

- (1)-5 学校は、グローバルな視点を持ち、英語力の向上に努力している。(積極的に英語検定の受検を推奨している)
- (2)-6 自主学習ノートの取り組みは、我が子の家庭学習の習慣化や学力向上に役立っている。
- (2)-9 全国学力・学習状況調査や県学力把握調査の課題などについて、学校から説明があった。

英語力の向上、自主学習ノートの取り組みの工夫、全国学力状況調査結果について

### 4 保護者には判断が難しいもの(分からないという回答が多い)

- (3)-5 学校は、欠席が多かったり、集団での生活に困難さを感じている生徒に対し、その生徒に応じたきめ細かい支援を行っている。
- (3)-7 学校は、生徒やその家庭の貧困やヤングケアラーの問題に取り組んでいる。
- (3)-15 「きずなの日」の意味や役割を知っている。
- (4)-3 体力テストの結果について学校から説明があった。
- (5)-1 学校学校は、生徒一人一人が必要とする支援をしている。
- (5)-2 学校の特別支援学級や通級指導教室などでは、生徒の実態に応じた適切な教育課程や指導形態を工夫し、一人一人を伸ばす指導と評価に努めている。
- (5)-3 学校の特別支援学級や通級指導教室は、支援計画や指導計画に沿って切れ目のない支援に努めている。
- (5)-4 学校は、特別な教育的支援を必要とする生徒への適切な指導と配慮に努めている。

きめ細かい生徒指導、ヤングケアラー、きずなの日の工夫、体力テストの結果のお知らせ、特別支援教育の啓発

### 5 令和 6 年度比較により肯定的意見が上昇しているもの

- (1)-2 学校は、感染症対策等による休校等の措置や欠席の多い生徒などの学びの保障に心掛け、工夫をしている。
- (1)-3 学校は、小学校との接続や連携を意識した教育活動を行なっている。
- (1)-4 我が子は、自分の将来に夢や希望を持ち、社会的・職業的自立に向け、将来に必要な基盤となる能力や態度を身につけるために努力している。
- (1)-6 学校で行われる職業調べや職場体験・進路学習・進路指導などは、我が子の将来の自立に役立っている。
- (1)-9 学校は山梨市や地域の地理・歴史・文化・福祉等の特色を生かした教育活動を進めている。(郷土学習など)

(2)-5 我が子の学級は、授業規律が確立していて、子供たちは授業に集中している。
(3)-2 学校は、ネット上のいじめ防止など、情報モラル教育を行っている。
(3)-5 学校は、欠席が多かったり、集団での生活に困難さを感じている生徒に対し、その生徒に応じたきめ細かい支援を行っている。
(3)-6 学校は、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーをはじめ、行政・他機関等の連携を大切にしている。
(3)-16 読書活動や文化芸術活動、美化活動等によって、学校がうるおいのある居場所になっている。
(4)-3 体力テストの結果について学校から説明があった。
(4)-6 学校は、新型コロナやインフルエンザなどの感染症に対して、感染が広がらない対応を取っている。
(6)-4 学校は、施設や設備が整備されていて安全である。

## 6 令和6年度比較により肯定的意見が下降しているもの

(3)-4 学校にはいじめや暴力行為がなく、子供は学校生活を安心して送れている。
(4)-2 保健体育の授業や体育的行事、部活動は、我が子の体力の向上につながっている。
(4)-8 学校は、感染症対策も取りつつ、行事や部活動などでは充実した活動ができています。
(6)-2 我が家では、日頃から家族で大地震や台風などによる自然災害が起きた場合の対応を確認している。
(6)-3 学校の防災訓練や避難訓練の実施や緊急時の防災マニュアルについて、理解している。
(7)-3 学校は、保護者や地域、関係機関等との協力を大事にしている。
(7)-5 学校から出される各種たよりや通知等(マチコミやホームページ含む)で、学校の様子がよく理解できている。

# 生徒 学校評価について

## 1 80%以上の肯定的意見

(1)-1 社会や生活の大きな変化を前向きに受け止め、人生をより豊かにしていくためにどうすべきか主体的に考えている。
(1)-2 日頃から校訓や学校の目標を意識しながら、「より良い山梨南中学校」を目指し取り組んでいる。
(1)-4 学校は、小学校で学習したことを踏まえて授業や活動を行なっている。
(1)-6 自分の将来に夢や希望を持ち、自立した大人になるために必要となる力を付けるよう努力している。(1年:職業調べ 2年:職場体験・進路学習 3年:進路指導)
(1)-7 先生と話をしたり相談したり触れ合う時間が十分にある。
(1)-8 外部講師を招いた学習会などでは、世の中の課題について考えたり意識を深めている。(南中タイム、インターネット、AI、交通安全教室・1年:交通安全教育 2年:依存症・薬物乱用防止教育 3年:エイズ教育、租税教育等)
(1)-9 学校は山梨市や地域の地理・歴史・文化・福祉等の特色を生かした教育活動を進めている。
(2)-1 先生たちは、楽しく魅力ある授業をしてくれるので、学習意欲がわき、学習内容もよく理解できる。
(2)-2 自ら学習課題や学習活動を選択する機会があり、生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促される場面が授業の中によくある。
(2)-3 「話す」「聞く」「書く」「読む」ことを使って、記録や要約、説明、論述、話し合うなどの活動が授業の中によくある。
(2)-4 一人一台端末等のICT環境が日常的に活用され、充実した授業が行なわれている。
(2)-5 授業で学習した内容が単元や題材ごとに成果が評価され、自分自身に返ってきている。
(2)-6 自分のこととして学習する態度が身につくようになっていて、学習習慣が定着している。
(2)-9 「自学」学習時間の取り組みは、自分にとって効果があると思う。

(3)-1 学校は、自分の大切さや他の人の大切さを認められるような人権意識を培う教育活動を行っている。
(3)-2 学校は、ネット上のいじめ防止など、情報モラル教育を行っている。
(3)-3 学校はいじめや暴力行為がなく、安心して生活できる。
(3)-4 学校には、誰にとっても居場所がある。
(3)-5 先生方は生徒一人一人に丁寧に支援や相談をしてくれる。
(3)-6 学校は、困り感のある生徒に対して、スクールカウンセラーなどとの教育相談を行っている。
(3)-8 道徳の時間で扱われる内容は、自分の生き方を考える内容のものとなっている。
(3)-9 道徳の時間は、自分をいろいろな立場や場面に置き換えて、考えたり議論したりする場面がある。
(3)-10 学校は生徒一人一人に応じた生徒指導をしている。
(3)-11 あなたの学級では、お互いを認め合ったり学び合ったりしている。
(3)-12 学校は、生徒が自発的・主体的に自らを成長させることができる場になっている。
(3)-13 自分たちで考え、自分たちの力で取り組む生徒会活動が進められている。
(3)-14 自分にとって、部活など学校の活動において、楽しみややりがいのある活動がある。
(3)-16 読書活動や文化芸術活動、美化活動等によって、学校がうるおいのある場所になっている。
(3)-17 校外学習や総合的な学習等で、人や文化・自然と関わることで、自分の心が豊かになる。
(4)-1 自分は、生活リズムが整えられていて、規律ある生活習慣が身についている。
(4)-2 保健体育の授業や体育的行事、部活動は、自分の体力の向上につながっている。
(4)-3 体力テストの結果が授業や体育的活動に生かされている。
(4)-4 「食」や「生活の安全」について学ぶことが「心身の健康の保持増進」につながることを理解している。
(4)-5 給食をはじめ家庭や家庭外での食生活では、食育を意識している。
(4)-6 学校は、新型コロナやインフルエンザなどの感染症に対して、感染が広がらない対応を取っている。
(4)-7 自分は、健康観察や換気、手指消毒、手洗い、3密の回避等、「新しい生活様式」として常に意識して生活している。
(4)-8 感染症対策も取りつつ、行事や部活動などは充実した活動ができている。
(5)-1 学校は、将来生徒一人一人が自立し社会に参加できるよう、個々に必要とする支援をしている。
(6)-2 防災訓練や避難訓練は、いざという時の行動に役に立っている。
(6)-3 学校は、施設や設備が整備されていて安全である。
(6)-4 先生は、安全や安心について丁寧に指導している。
(7)-1 学校は、地域から大切にされていると感じる。
(7)-2 学校は日々の生活や行事・活動(生徒会や部活動も含めて)について、その都度反省し課題を明らかにしている。
(7)-3 学校は、保護者や地域、関係機関等との協力を大事にしている。
(7)-4 自分は、地域の行事等に参加できる体制があるので、地域行事に進んで参加している。
(7)-5 学校での様々な活動や成果については、各種たよりや通知等(ホームページやマチコミを含む)で家庭に知らされている。
(7)-6 自分は、学校の良い所や、地域の良い所や誇れるものを知っていて、それを生かしたいと思っている。

生徒はほとんどの項目で肯定的な意見  
生徒と学年、クラス等で信頼関係があると考えられる

## 2 60%以下 50%いかのもの

(2)-7 あなたの学級は、授業規律が確立していて、みんな集中して授業を受けている。
(3)-15 「きずなの日」の意味や役割を知っている。

授業規律について、改善したいと考えていることが分かる。  
きずなの日について理解を深めたい

### 3 令和6年度比較により肯定的意見が上昇しているもの

- (1)-8 外部講師を招いた学習会などでは、世の中の課題について考えたり意識を深めている。(南中タイム、インターネット、AI、交通安全教室・1年:交通安全教育 2年:依存症・薬物乱用防止教育 3年:エイズ教育、租税教育等)
- (2)-4 一人一台端末等の ICT 環境が日常的に活用され、充実した授業が行なわれている。
- (2)-5 授業で学習した内容が単元や題材ごとに成果が評価され、自分自身に返ってきている。
- (2)-6 自分のこととして学習する態度が身につくようになって、学習習慣が定着している。
- (2)-7 あなたの学級は、授業規律が確立していて、みんな集中して授業を受けている。
- (2)-10 全国学力・学習状況調査や県学力把握調査の課題などが、授業で生かされている。
- (3)-3 学校はいじめや暴力行為がなく、安心して生活できる。
- (3)-10 学校は生徒一人一人に応じた生徒指導をしている。
- (3)-15 「きずなの日」の意味や役割を知っている。
- (4)-1 自分は、生活リズムが整えられていて、規律ある生活習慣が身につくようになってきている。
- (4)-7 自分は、健康観察や換気、手指消毒、手洗い、3密の回避等、「新しい生活様式」として常に意識して生活している。
- (5)-1 学校は、将来生徒一人一人が自立し社会に参加できるよう、個々に必要とする支援をしている。(6)-1 自分は、日頃から大地震や台風などによる自然災害が起きた場合どうするかシュミレーションしている。(6)-2 防災訓練や避難訓練は、いざという時の行動に役に立っている。
- (7)-2 学校は日々の生活や行事・活動(生徒会や部活動も含めて)について、その都度反省し課題を明らかにしている。
- (7)-3 学校は、保護者や地域、関係機関等との協力を大事にしている。

### 4 令和6年度比較により肯定的意見が下降しているもの

- (1)-2 日頃から校訓や学校の目標を意識しながら、「より良い山梨南中学校」を目指し取り組んでいる。(1)-9 学校は山梨市や地域の地理・歴史・文化・福祉等の特色を生かした教育活動を進めている。(2)-8 自主学習ノートの取り組みは、自分にとって家庭学習の習慣化や学力向上に役立っている。(2)-9 「自学」学習時間の取り組みは、自分にとって効果があると思う。
- (3)-7 学校は、生徒やその家庭の貧困やヤングケアラーの問題解決に取り組んでいる。
- (3)-8 道徳の時間で扱われる内容は、自分の生き方を考える内容のものとなっている。
- (3)-13 自分たちで考え、自分たちの力で取り組む生徒会活動が進められている。
- (3)-16 読書活動や文化芸術活動、美化活動等によって、学校がうるおいのある場所になっている。
- (6)-3 学校は、施設や設備が整備されていて安全である。